

「DVP決済方式の推進と清算機能の活用等に関する
ワーキング・グループ」(第5回)議事要旨

【開催日時】 平成12年12月13日(水) 午前10時~12時10分

【場所】 日本証券業協会 第1会議室

【主な議題】 1. 一般振替DVPの基本的枠組みについて
2. その他

【議事要旨】

1. 一般振替DVPの基本的枠組みについて

長谷川委員から証券保管振替機構が試案として作成した一般振替DVPの基本的枠組みに関して、以下の項目についての説明が行われた後、質疑応答及び意見交換が行われた。

(1) 証券決済のSTP環境における一般振替DVPの位置付け

(2) 一般振替DVPの基本的枠組みについて

目的

概要

関係当事者

…参加者資格要件、決済銀行資格要件など

決済を完了させるための資金

…参加者基金の拠出、算出方法及び与信提供銀行など

リスク管理のための振替実行条件

…差引支払限度額(Net Debit Cap)の確認、余裕値(Collateral Monitor)の確認

決済のプロセス

イ) 通常時

ロ) 資金決済不履行時

なお、今後の日程として、参加者に対し説明会を開催し、広く意見等を頂戴し安全かつ利便性の高いものにしていきたいとの説明があった。

主な意見は次のとおりである。

- ・ 取引所取引の決済との関係で、例えば、米国のNSCCとDTCCの関係におけるクロス・ギャランティやクロス・エンドースメントなども検討していただきたい。
- ・ 市場の安全性向上の観点から、早期に実現を図るべきである。なお、今後、制度の詳細な検討を行うに際しては、以下の項目を視野に入れた検討をしていただきたい。

参加者に対する信用度や事務処理能力のモニタリング
売戻しを使わないスキームや損失分担ルール
「ランファルシー基準プラス・ワン」の導入
リスクを考慮した資金決済時間帯の設定
関係者間（保振機構、参加者、決済銀行）の権利義務関係など

2. その他

事務局から、今後の審議促進に役立てるため、清算・決済の在り方に関するアンケート調査を実施したいとの依頼があり、その記載方法及び提出期限等の説明があった。

最後に、神作座長より「次回会合の開催については、別途、連絡することとしたい。」旨の発言があり、今回の会合は終了した。

以 上

本議事要旨は暫定版であるため、今後修正があり得ます。

本件についてのご意見、お問い合わせは、下記まで電子メール又はお電話にてお寄せください。

日本証券業協会 公社債部

電子メール：saiken@jsda.or.jp

電話：03-3667-8456